



プレスリリース

令和5年度草の根・人間の安全保障無償資金協力：

エレバン市児童保護センター改修計画 供与式の実施

エレバン：令和6年12月05日

令和6年12月05日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「エレバン市児童保護センター改修計画」の供与式が、エレバン市の児童保護センターにおいて開催されました。

本式典には、青木豊駐アルメニア日本国大使、バグラト・サルグシヤン・アルメニア救済基金国内代表、ミラ・アントニヤン・児童保護財団事務局長、アルトゥル・ケソヤン・労働社会問題省機会均等部副部长が出席したほか、本案件関係者や地元住民等が参加しました。

本案件は、児童保護センターの一部を改修することにより、生活環境を改善し、社会サービス、安全性、プライバシー、および全体的な学習環境の向上に貢献することを目的としています。

本案件の実施により、ナゴルノ・カラバフからの避難民を含む計620人の子供たちとその保護者が年間を通じて恩恵を受けることとなります。

アントニヤン事務局長は「日本政府の支援に心から感謝申し上げます。児童保護センターの改修によって、地域の家族やナゴルノ・カラバフからの避難民へのサービス提供能力が向上し、私たちの地域の恵まれない子供たちの生活が改善されると確信しています。今後も日本とアルメニアの協力関係が続くことを期待しています」と謝意を述べました。



テープカットの様子



本案件関係者に祝辞を述べる青木大使



センターの子供たちとの記念撮影



本案件関係者による記念撮影

※諸事情により、子供たちの顔にモザイクをかけています。